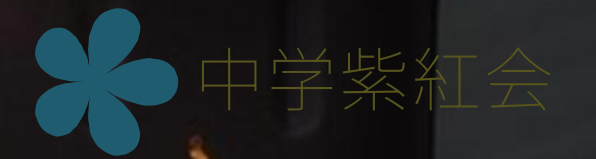




ごみゼロ推進アクションプラン

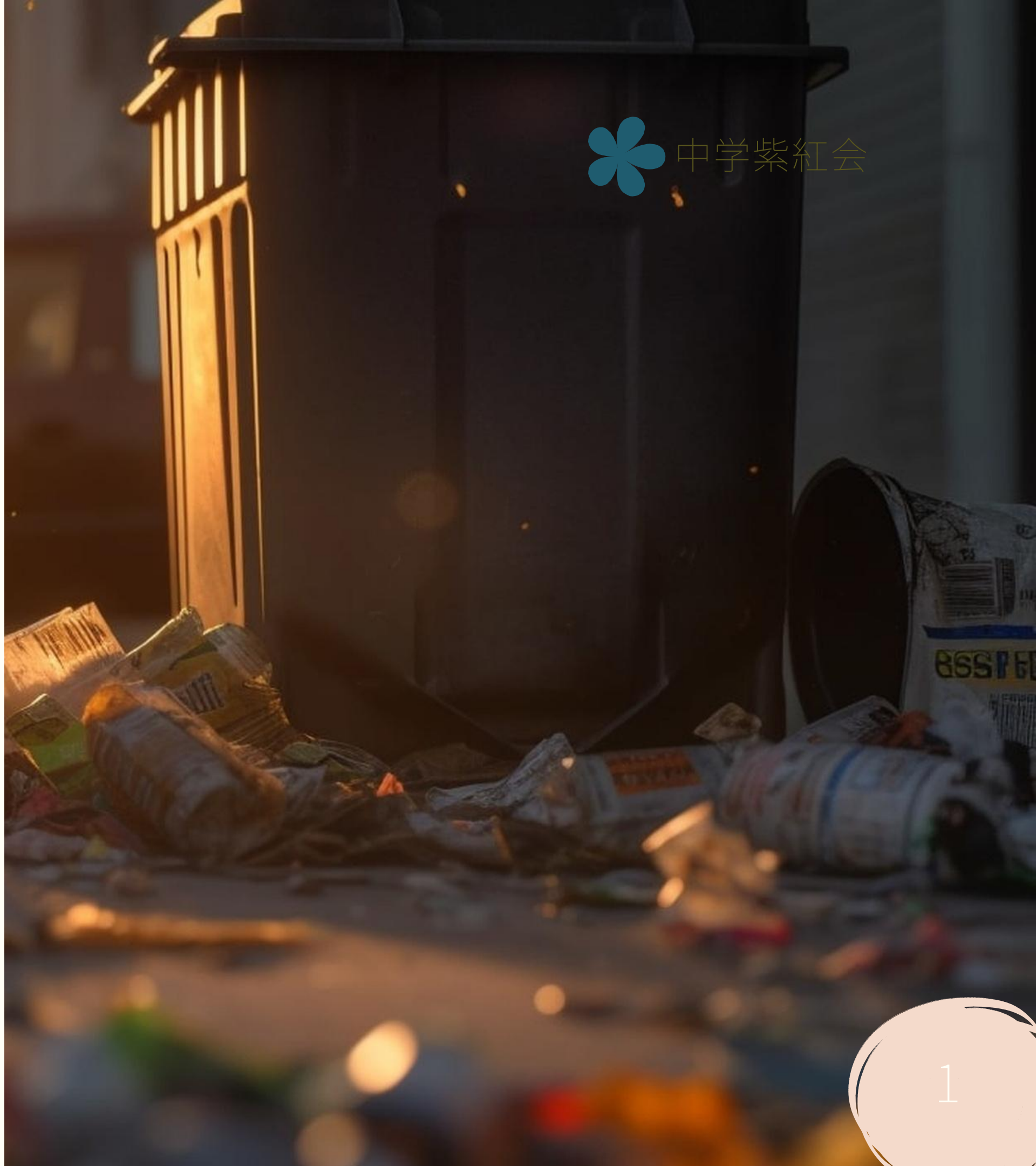
武蔵野大学中学校
紫紅会

保谷駅の現状



私たちが思う現状の課題

- ⚠ 路上喫煙とポイ捨ての常習化
- ⚠ 清掃しても繰り返される「いたちごっこ」
- ⚠ 街の美観と安全性の低下



私たちのビジョン

「ゴミを拾う」から、「そもそも捨てさせない」 街へ

3本立ての戦略：アクションプラン



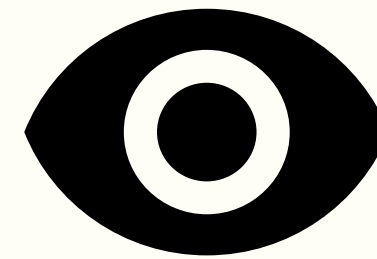
①伝える

ラジオ放送による
市民への意識啓発



②体験する

清掃活動の体験を通じた
当事者意識の醸成



③広める

視覚的なポスター掲示で
マナー向上

①伝える：ラジオを通じた意識革命

FM西東京との連携

街のメディアであるラジオを活用し、幅広い世代に直接メッセージを送り届けます。

- 中高生の生の声を届けるインパクト
- ゴミ問題の現状と対策を発信
- 「自分たちで街を自分たちで守る」文化を醸成



②体験する：学校から地域へ



Step1: 学校の生徒と一緒に

まずは、生徒自身が身の回りのゴミ拾いを体験。
問題の身近さを学びます。



Step2: 地域の方と一緒に

市民参加型のイベントとして規模を拡大。街全体
で「体験」を共有します。

Step1: 学校の生徒と一緒に

私たちがゴミ拾い活動を行ったところ



『地図』より

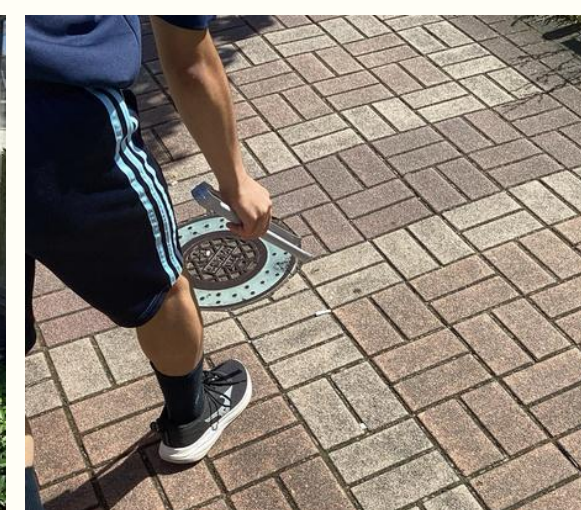
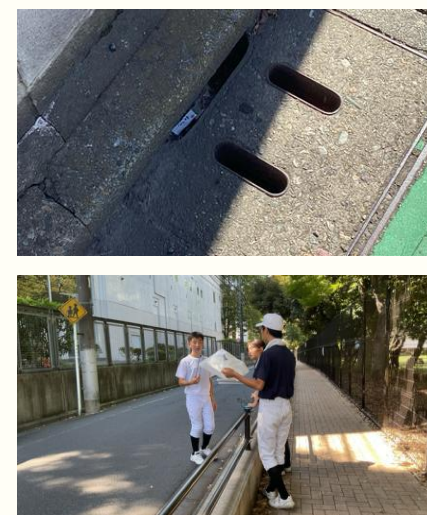
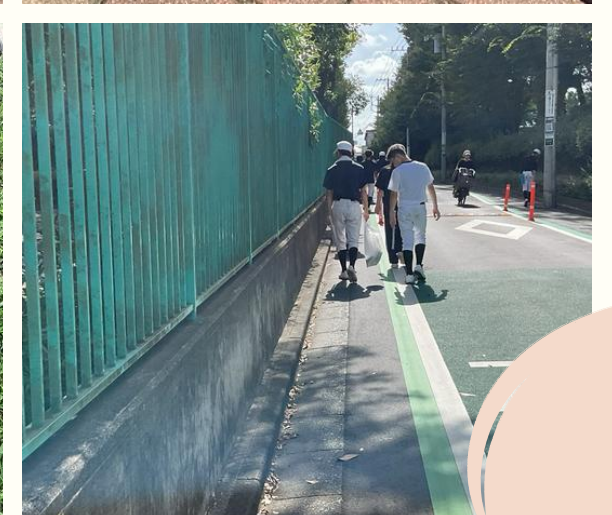
Step1: 学校の生徒と一緒に



武蔵野大学中学校・高等学校の野球部の皆さん

Step1:学校の生徒と一緒に

ごみ拾い活動中



Step1: 学校の生徒と一緒に

ゴミ拾い活動の結果



板・枝etc



タバコ・落ち葉etc

燃えるゴミ



袋・お菓子のゴミetc

燃えないゴミ



ペットボトル・缶etc

その他

③広める：ターゲットを絞ったポスター



「無意識」を「意識」に変える

保谷駅周辺のコンビニや電柱、掲示板など、ポイ捨てが起こりやすい場所にピンポイントで掲示します。

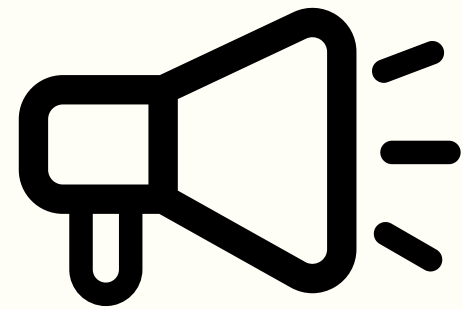
- 中・高生が制作する「心に訴える」デザイン
- 喫煙マナーへの注意喚起とルールの再確認
- 街全体の監視の目（コミュニティ意識）を強化

実際に考えてみたポスター



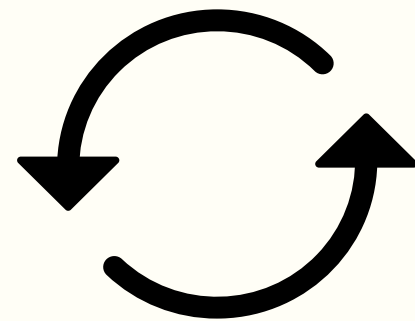
コンビニや街の掲示板等に
貼ることを想定

電柱や駅等に貼ることを想定



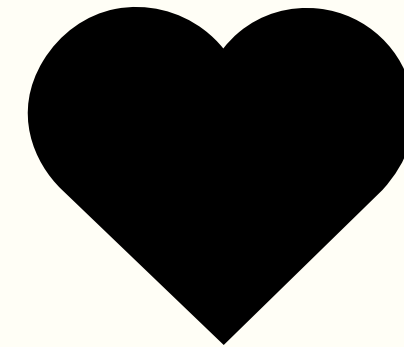
1. アプローチ

清掃という対症療法にとどまらず、ラジオ・ポスターで市民の意識へ働きかけ「そもそも捨てさせない」環境を構築します。



2. 中高生起点の協働

中高生が自ら行動して声をあげることで、大人や地域全体を巻き込み、新しい世代主導の地域連携モデルを創ります。



3. 美しい西東京の定着

一回のイベントで終わせず、シビックプライド（街への愛着と誇り）を育み、持続可能で綺麗な街を未来に引き継ぎます。

.....

Question time

私たちに何か質問ありますか

ありがとうございました。

武蔵野大学中学校・高等学校